

平安女学院がマスコミに報道されました!!

2007年10月5日(金)
京都新聞 夕刊

セーラー服を学校制服として日本で初めて導入したのは、京都市上京区の平安女学院だったことが、岡山県の制服メーカーの調べでわかった。通説だった福岡女学校(現・福岡女学院中高、福岡市)の1921(大正10)年を1年だけさかのぼる。

セーラー服導入 平安女学院元祖

明治末期からはかまとバックルを統一していた平安女学院が、洋式制服を導入したのは1920(大正9)年。ウエストにベルトが付いた紺色のワンピースで、胸から開いた大きな襟と胸元のリボンが特徴だった。同校が2000年に発行した『写真で見る125年史』には、「好評で他校生からも後援視された」と紹介されている。

に欧米人がいるミッション系の学校で相次いで採用され、全国に広まった。今でも中学で半数以上、高校でも2割強の学校でセーラー服が着用されているという。同社ユニフォーム研究室長の佐野勝彦さん(58)は「京都はもともと着る物への関心が高かったために、当時最もモダンだったセーラー服を受け入れた業地があったのでは」と語っている。平安女学院は「他校に先駆けた」という認識はあったが、日本で初めてとは知らなかった。歴史と伝統を重んじる学校にとって誇りになる」と話している。同学院は1977年に中高生生の制服をブレザーに一新したが、2006年に中学校のみセーラー服を復活させている。



平安女学院の初代セーラー服。付け替え可能な白い襟が特徴的な印象。(平安女学院提供)

大正9年 福岡の学校より1年早く

日本初、セーラー服を制服として導入したのは、京都市上京区の平安女学院だったことが、岡山県の制服メーカーの調べでわかった。通説だった福岡女学校(現・福岡女学院中高、福岡市)の1921(大正10)年を1年だけさかのぼる。

1920年「平女」が元祖

セーラー服

平安女学院の制服として、セーラー服が採用されたのは、大正9年(1920年)のことだ。福岡の学校より1年早く、京都市上京区に平安女学院が設立された。同校の制服は、当時としては珍しい、ウエストにベルトが付いた紺色のワンピースで、胸から開いた大きな襟と胸元のリボンが特徴だった。同校が2000年に発行した『写真で見る125年史』には、「好評で他校生からも後援視された」と紹介されている。



トンボ 定説「福女」より1年早い

セーラー服「元祖」は京都

平安女学院、大正9年採用



2007年10月6日(土)
朝日新聞 夕刊

セーラー服の 元祖は 平安女学院!

2007年10月6日(土)
毎日新聞 夕刊

本学院の初代制服が 展示紹介! (10/6より)

企画展 セーラー服と縞

平成19年10月6日(土)~11月25日(日)

会場: 横浜マリタイムミュージアム 特別展示室
開館時間: 10:00~17:00
休館日: 月曜日休館(但し10月8日は開館、翌日休館)

入館料: 高校生以上600円 / 小・中学生300円
※乗船する帆船日本丸の船内も見学できます
※20名以上の団体は100円引きです
※毎週土曜日は小学生・中学生・高校生無料

交通: みなとみらい線 みなとみらい駅 馬車道駅下車徒歩5分 / JR横須線・市営地下鉄横須線 日本町駅下車徒歩5分
主催: 横浜マリタイムミュージアム(MMMA) 帆船日本丸記念財団・JTB共同事業体
後援: 横浜市港湾局

横浜マリタイムミュージアム
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1 帆船日本丸記念財団・JTB共同事業体 TEL. 045(221)40280 http://www.nippon-maru.jp

SAILOR SUIT & STRIPE T-SHIRT

The U.S. Atlantic Fleet

◆記念講演会
セーラー服と縞シャツの起源
講師: 杉浦昭典(神戸商科大学名誉教授)
日時: 11月10日(土) 14:00~16:00

◆「海」日本丸訓練センター開館記念イベント
定員: 100人(参加費500円)
参加費: 500円
申込方法: 往復はがきにて住所、氏名、年齢を明記して、10月31日(木)までに講演会係に申し込んでください。

◆フロアガイド
日時: 10月20日(土) 14:00~14:30
11月3日(祝・土) 14:00~14:30
※参加費無料ですが、入館料が必要です。